

2021年度の事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日)

特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク

1 事業の成果

今年度いちぶんネットは設立20周年を迎える。20年に及ぶ活動は評価されるべきだが、この数年内に解決しなければならない課題もある。創設世代の高齢化による「世代交代」とコロナ禍の影響による「赤字解消」の克服である。

2021年度開設8年目となった「放課後等デイサービス・ハクナマタタ」は、中高生の知的障がい児童を対象に、食育・アート・運動・外部講師による文化活動などを通じて障がい児の楽しく豊かで安心できる芸術的居場所と社会生活力向上の場になっている。利用契約者38名(アクティブユーザー29名)在籍。前年同様、コロナ禍の影響で学校からの放デイを控える要請が続き、厳しい経営となった。コロナ対策として徹底した感染対策に努め、事業所の閉鎖などを発生せず運営する事ができた。保護者向けに行った「事業所評価」では支援やプログラムにほぼ100%の評価を頂いた。今年度は早急に運営の立て直しをはかる。

2021年度開設6年目となった「スペースにわにわ」は、いちぶんネットの事業を大きく発展させ、市民芸術文化活動の創造と交流の拠点として活発に活用されているが、人材不足と厳しい経営状況は続いている。今年度は「文化庁委託事業」「いちかわ市民ミュージカル支援」を中心に赤字克服と人材体制の確立をめざす。

チャレンジド・ミュージカルは、コロナ禍で開催中止となっていた公演が2022年5月に実現できた。中止の中でも諦めず稽古を繰り返した出演者・サポーター達の記念すべき公演となった。

2021年度から5か年計画として始まった文化庁委託事業、3か年計画の中央ろきん助成制度は、芸術文化を通して共生文化社会をめざし、シンポジウムやワークショップ、発表・展示・サロンなどアート活動を中心とした幅広い活動と広がりを持つ事業となった。

「いちミュージック」「いちぶん日舞教室」「いるんおるん」は感染予防に注意しながら活動を継続。コロナ禍の中での貴重な交流の場となった。

「消費者啓発劇団コントdeゲキ隊!」は感染予防のため、活動を中止。

「子ども茶道教室・日舞教室」は、茶道教室は感染予防のため中止、日舞教室のみ開催した。活動を縮小しながらも日本文化に関心を持ってもらえる場となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①児童福祉法に基づく放課後等児童デイサービス事業						
放課後等デイサービス・ハクナマタタ	障がい児(当面中高生対象)の放課後の学びといちぶんネットならではのカリキュラムを用いて、芸術活動を楽しむ場を確保する。	通年 毎週月～金 (除く祭日)	法人事務所	9名 (常勤者3名 +パート6名)	障がいを持つ中高生 (各日平均8.5名利用) 通算2030名	20,689
就労継続支援B型事業所「ハクナマタタcafé(仮)」の開設をめざす準備	いちぶんらしさとハクナマタタで培ったプログラムを応用しながらの就労施設開設をめざす。	通年(準備)	法人事務所	9名 (常勤者3名 +パート6名)他	法人従業員 理事 保護者	ハクナマタタの事業費を含む

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
②市民による文化芸術に関する活動、普及および支援						
スペースにわにわの運営	いちぶんネット芸術文化制作部門事業の開催会場とオンライン配信会場、市民活動団体とのシェアスペース、時間貸しのレンタルスペース、地域との交流イベント企画開催実施会場、デッキスペースでの地域密着型販売支援。	通年	スペースにわにわ	2名	利用者通算4000名	4,978
チャレンジド・ミュージカル ①第13回公演 「Mr. パーフェクト！ ～〇が×で、×が〇で～」	芸術文化活動を通して、障がいのある人たちの社会参加と社会貢献を促進する。	(市川公演) (千葉公演) 開催中止 (延期公演) 2022/5/5 2回公演	(延期公演) 市川市行徳文化ホールI & I	スタッフ サポーター 50名	出演者 53名	909
チャレンジド・ミュージカル ②劇団「JAMBO!」出前公演	休日を利用して、首都圏内各地に「日帰り出張公演」(今年度は中止)や芸術文化活動を通して障がいのある人たちの社会参加と社会貢献を促進する。	(出前公演) 中止 (オンライン活動) いちミュウ文化祭 2021/6/19(土) ふれあいコンサート 2021/12/12(日)	オンライン	スタッフ	劇団員35名	51
チャレンジド・ミュージカル 創造体験活動2021	チャレンジド・ミュージカル表現力を向上させるためのワークショップ	2021/10/3 ～2022/2/19 計24回	須和田の丘支援学校 市内公民館	スタッフ サポーター 30名	参加者 1日平均45名	160
文化庁委託事業 「ユニバーサル・アート」が 花咲くまちづくり！～輝く共生社会実現に向けて～ ①シンポジウムと身体ワーク ショップ	障害の有無に関わらず市川市とその隣接地域の多様な分野の人たちと共に、芸術文化活動を通して「共生社会実現」をテーマにしたシンポジウム、専門講師によるレクチャーカフェ、ワークショップなどの実践的な取り組みを行い、共感的な協働ネットワーク「ユニバーサルアート・ネット」の構築を図る。	2021/7/31(土) 13:00-16:00	全日警ホール	指導員2名 他スタッフ	参加者 50名	2,337
文化庁委託事業 「ユニバーサル・アート」が 花咲くまちづくり！～輝く共生社会実現に向けて～ ②トーク&レクチャーカフェ		①2021/8/21 13:00-15:00 ②2021/9/4 17:00-19:00 ③2021/10/16 15:00-17:00 ④2021/12/5 13:00-15:00	①スペースにわにわ ②土曜café ③みどりtoゆかり ④アトリエ・ローゼンホルツ	講師 スタッフ	参加者 41名	
文化庁委託事業 「ユニバーサル・アート」が 花咲くまちづくり！～輝く共生社会実現に向けて～ ③ワークショップ		2021/8/1 10:00-12:00 2021/11/3 13:30-15:00 2021/12/19 13:30-15:30 (オンライン) 6/27, 9/26, 1/15	全日警ホール 流山生涯学習センター 須和田の丘支援学校 スペース四季彩 スペースにわにわ	講師 スタッフ	参加者 113名	
文化庁委託事業 「ユニバーサル・アート」が 花咲くまちづくり！～輝く共生社会実現に向けて～ ④ユニバーサル・アート・フェスティバル		(舞台合同発表会) 開催中止 (まちなか展示会) 2022/1/22 ～2022/2/6 (アート展) 展示日 2022/2/19 YouTube配信 2022/3/6～	市川市内7か所の飲食店など 千葉県文化会館大ホール	スタッフ	展示数70展	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
いちミュージックス	春・夏・冬の長期休み期間に行う小さな子どもと家族の芸術活動推進と子育て支援を目的としたプレイアート舞台芸術ワークショップ。	(春)開催中止 (夏)7/27-8/31計10回 (冬)開催中止	スペースにわにわ他	講師 1~2名 スタッフ	参加者 乳幼児~小学生とその家族 延べ人数 46名	54
子ども茶道教室・日舞教室	伝統文化を楽しむことで、地域と生活と自己への新しい発見に期待する茶道・日舞教室	(茶道) 開催中止 (日舞) 8/24~11/9の 毎週火曜日 発表会 11/14 (全10回)	(茶道) 開催中止 (日舞) スペースにわにわ	(茶道) 開催中止 (日舞) 講師1名 スタッフ	(日舞) 園児 ~中学生6名	145
消費者啓発劇団「コントdeげき隊！」2021	蔓延する消費者詐欺防止を啓発するため、コントを作成し、県内各地の県民講座並びに自治会、イベント、公民館行事などで上演する。「高齢者虐待防止」も取り上げる。	活動中止	活動中止	活動中止	活動中止	0
いちぶん日舞教室	日本舞踊の基礎を学びながら、和文化の所作等を学ぶ。	毎月2回・火曜 18:00-20:30 (2部制) 前半/キッズ 後半/大人の部	スペースにわにわ	講師1名 スタッフ	参加者 各日5-6名	271
いるんおるん	働く障がい青年のための癒しと交流カフェ	4/16~3/18 年24回開催	スペースにわにわ	スタッフ 3名	参加者 1日平均9名	292
地域に共生文化の花を咲かせる「ユニバーサルアート・サロン」	誰もが生きるたのしみと、働くよろこびを享受できる地域社会の創造に向けて、障がいのある人もない人も一緒になってイベントの企画・参加しながら、地域に共生社会の花を咲かせる支援事業。	(準備期間) 4月-7月 (実施期間) 8/1-3/10 サロン/16回開催 サロンイベント/4回 WS/7回開催	スペースにわにわ 全日警ホール 須和田の丘支援学校 他	スタッフ	延べ人数 287人	486

③広報および出版物の発行

広報誌「いちぶん通信」の発行(会の活動広報、情報公開)	年1回発行			1名	200部	スペースにわにわの事業費に含む
ホームページの公開・更新(活動情報の提供)	HPの積極利用			2名		同上
SNSを使用した広報	公式LINE開設 Instagram Facebookの積極利用			2名		同上

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
④行政、諸団体との協働およびネットワークづくり						
1、第7回いちミュウ文化祭	市川市のさまざまな市民文化サークルの祭典・合同発表会。「相互に観合って批評し合う」「優秀3賞授与」を実施。	2021/6/19(土) 2021/6/20(日) 17:00-19:00	全日警ホール		市民サークル 9団体 延べ100名	同上
2. 赤レンガをいかす会 事務局担当	旧千葉県血清研究所跡地にある赤レンガ建築物と施設の有効保存を図る活動を推進する。 啓発広報活動	通年	旧千葉県血清研究所			
3、市川市民サークル活動支援事業	シニア劇波瀾ばんばん座・劇団七福神・劇団ポラーノ・劇団市川座・市川邦楽連盟・ダンス集団おやじdeソレイユ・SHIZUKUなど、要請のあった市民サークル活動を様々な形で支援。	通年		スタッフ 2名		
4. 協働活動支援事業	市川市教育委員会との協働事業。障害者の生涯活動支援事業としてYouTubeダンスレクチャー動画の撮影協力を行った。	2022/2月中旬 ～3/31	市川市 公民館オンライン	スタッフ 3名		
※協働・ネットワーク事業の事業費は、「スペースにわにわの運営費」に含む。					合計	30,372